

### 拠点像の実現に向けた取組例

(●印はすでに実施済みのもの。★印は、これから実施するもの。)

#### ●ロボット、バイオ、コンテンツ等、新産業の振興

バイオベンチャー企業・研究機関等の集積を目指した「福岡バイオバレープロジェクト」、製造用だけでなく、警備・災害救助、医療・福祉など様々な分野での実用化が見込まれるロボット産業の育成、九州大学芸術工学院をはじめとしたコンテンツ分野の豊富な人材を活かしたコンテンツ産業の拠点化、など新産業の振興を図っている。

#### ★(GP) Rubyビジネスの振興

意義と目的	Rubyを軸とした有用なサービスをユーザー企業に提供し、ユーザー企業の事業拡大、ひいてはソフトウェア産業の活性化を図る。
事業内容	産学官により設立したRubyビジネス拠点推進会議を中心に、技術開発、技術者育成の支援等を行う。
既存の取組	Rubyビジネス拠点推進会議

#### ★(GP) 高齢者向け・新概念カーの開発

意義と目的	高齢化の進展に伴い、65歳以上の高齢ドライバーは今後急速に増加する見込みである。高齢ドライバーは、視力の低下、視野の狭さ、反応動作にムラが生じやすいなどの特徴がある。このため、高齢者ニーズに対応した高齢者自動車の開発を推進する。
事業内容	産学官による委員会「新高齢者自動車開発委員会(仮称)」を設立し、新しいコンセプトの高齢者自動車の提案を行う。

### 拠点像の実現に向けた課題

#### ■技術シーズを事業化に結びつけるしくみ、人材

優れた技術シーズを異分野のニーズと結びつけ、新しい事業として起業していくためには、異分野の情報が交流していくしくみ、プロデュースや経営ノウハウを持つ人材が必要である。

## 拠点像 5 世界の知的センター

### 概要

数多くの大学院を有する大学や研究機関、アジアを中心とする多くの留学生が存在する九州北部地域は、世界レベルの高度な学術研究基盤を有している。

また、都市的便利さと豊かな自然を併せ持ち、世界の中でも暮らしやすい地域である優位性を活かして、さらに最先端の研究機関の誘致に取り組むとともに、アジアをはじめとする世界から多くの研究者が集まる、高度な学術研究が展開する知の拠点を目指す。

(拠点像を支える要素)

大学・研究機関の技術集積、留学生の多さ、都市的便利さ、豊かな自然

### 施策の方向

#### ○アジア諸国との技術・経済交流の促進

異分野技術の相互交流を九州北部だけではなく、韓国や中国での研究開発分野との交流や情報交換を産学官レベルで実施するなど、アジアとの技術交流を活性化する。

#### ○大学・研究機関による海外との知的交流の促進

福岡県が抱える大学・研究機関のストックをさらに磨き、アジアの知的拠点を目指して、海外大学・研究機関とのネットワークの形成、相互交流等を促進する。

また、大学における留学生の増加を目指した取組を促進する。

#### ○外国人の居住環境の整備（学校教育、医療、住宅等）

アジアの交流拠点を目指す当地域としては、外国人が居住しやすい生活環境をいち早く整備することが求められる。中でも、子供の学校教育、医療、住宅等の基礎的インフラの整備を着実に推進する。

## 拠点像の実現に向けた取組例

(●印はすでに実施済みのもの。★印は、これから実施するもの。)

### ●九州北部学術研究都市整備構想

「環境・人間・アジア」を基本コンセプトとして、九州北部の7つの拠点地域（北九州、宗像、飯塚、福岡、筑紫、久留米・鳥栖、佐賀）が地域特性を活かして都市機能・学術研究機能・産業機能の拠点性を高め、相互のネットワークを図りながら、ネットワーク型の文化・学術研究の一大拠点を目指している。

### ●ベンチャーマーケットの実施

ベンチャー企業の育成のため、平成11年に開始した公設民営マーケット。毎月1回開催され、これまでに海外企業を含む1400社以上が登壇している。福岡県の創業率は、全国有数で、常に創業が廃業を上回っている。

### ●留学生サポートセンター

福岡県の経済界（県内4商工会議所）、大学（8大学）、自治体（5自治体）が協力して留学生を支援するため、平成20年に設立。生活相談、アルバイトの斡旋、就職活動の支援などを実施している。

### ★（GP）九大学研都市等への研究機関の誘致

意義と目的	燃料電池や石炭ガス化など、九州大学等が有する研究シーズを産業の高度化、技術革新につなげる。
事業内容	九州大学学術研究都市や北九州学術研究都市において、研究・開発機関の誘致を進める。
既存の取組	水素材料先端科学研究センター、水素エネルギー製品研究試験センター

### ★（GP）アジア研究機関の充実強化

意義と目的	アジア地域の持続的な経済発展に知的貢献をするため、アジア共通の課題に関する研究機関の充実を図る。
事業内容	アジアにおける研究機関のハブ、国際会議の知的基盤となる研究機関の誘致検討などにより、充実強化を図る。
既存の取組	福岡アジア国際会議の開催（2007年まで）

## 拠点像の実現に向けた課題

### ■海外の優秀な人材の確保

優秀な技術系人材確保のためには、アジア諸国を中心とする海外からの人材を引き付けることができる生活環境や言葉の壁の緩和が必要である。